

(3) 空間のイメージ

■ 東口駅前広場から東を望む

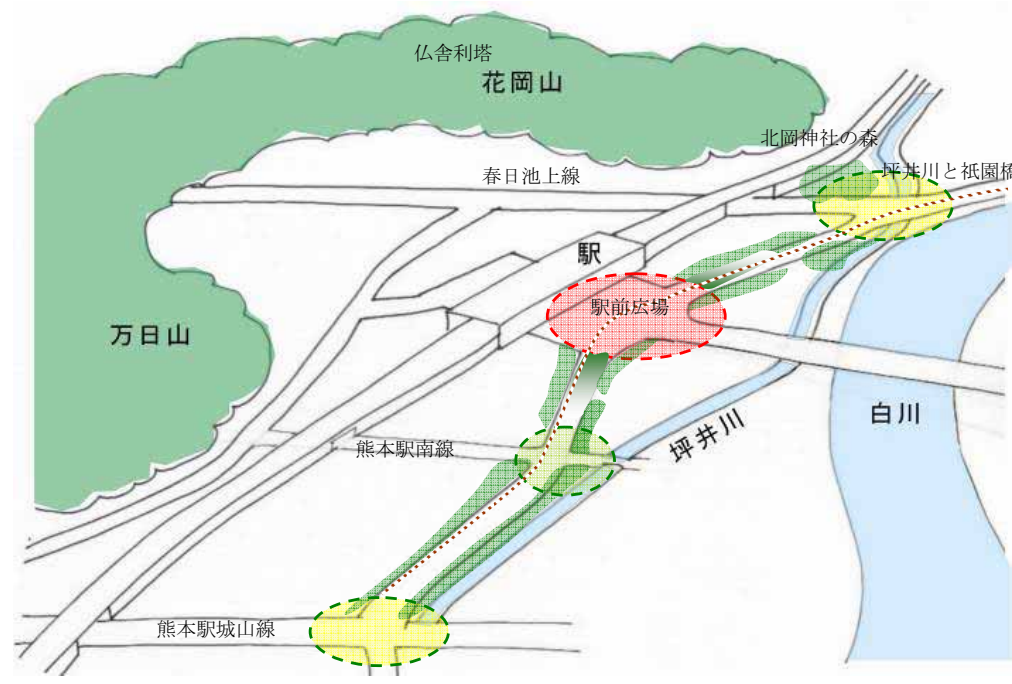
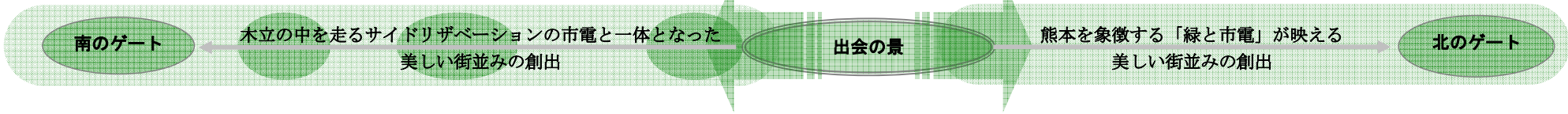
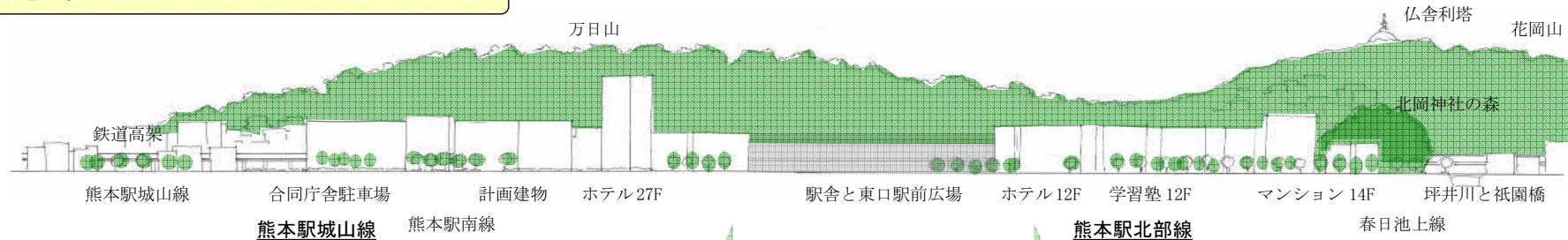
県都の駅、徒歩・市電・車・バス等による動線の要、ここから広がる熊本への動線。

グリッド状の緑を空間構成の基本に据え、まとまりのある空間を構成する。



5. 木立の景〈森のみち〉～美しい熊本の緑に包まれた 市電が走る空間～

(1) コンセプト



①「緑」の木立の中を走る「市電」、これらの熊本を象徴する2つの要素が心地よく映える、美しい街並みを形成する。

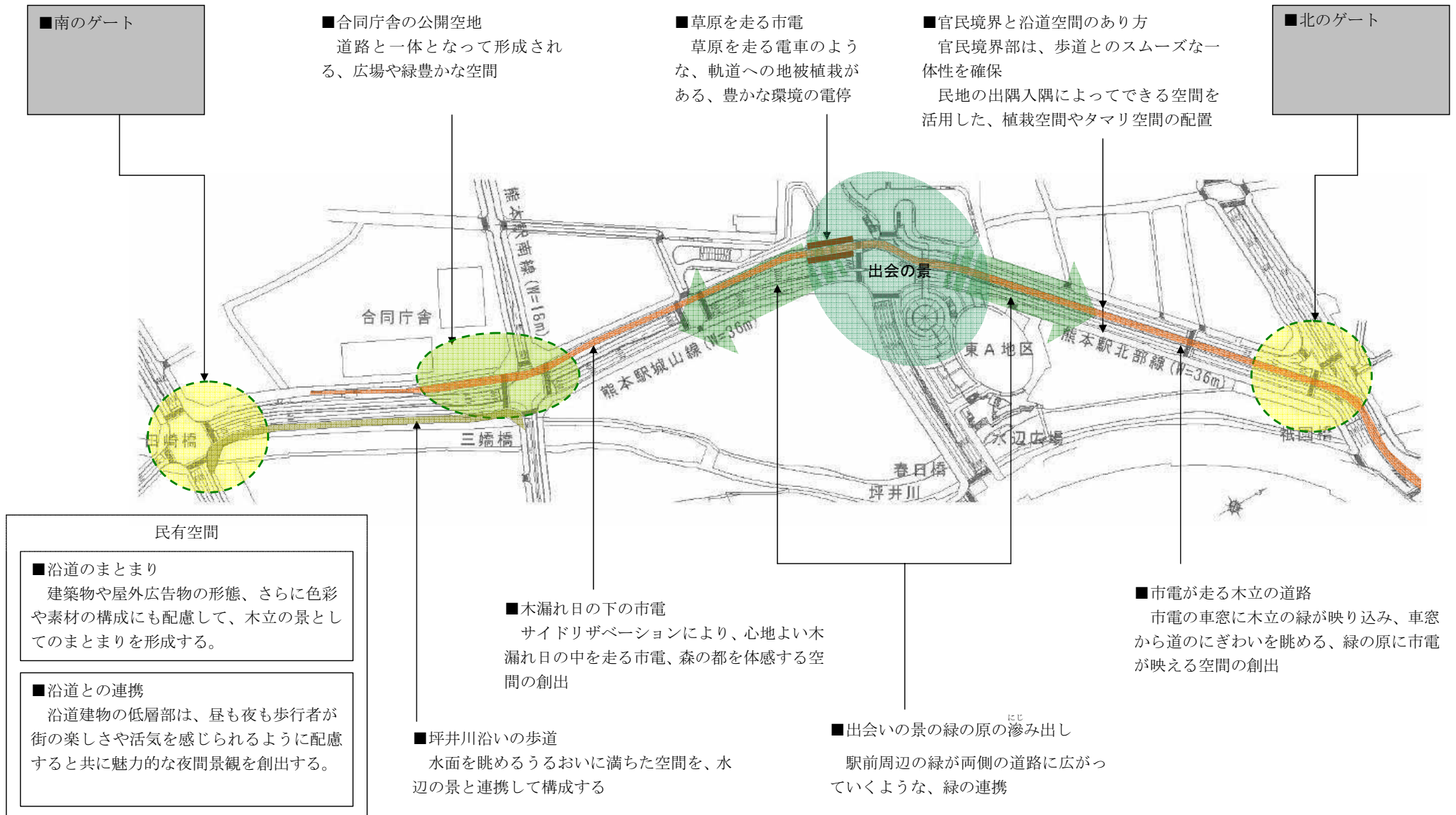
②歩道と沿道民有敷地が連携して、人々が活用する多様な空間を構成する。

③公園のような、まとまりのある多様な緑の演出により街の基盤を形成し、豊かにぎわいとうるおいが感じられる空間を創出する。

④木陰の中を走る市電を構成することにより、熊本らしい市街地の中での美しい森の都を体感する空間を形成する。

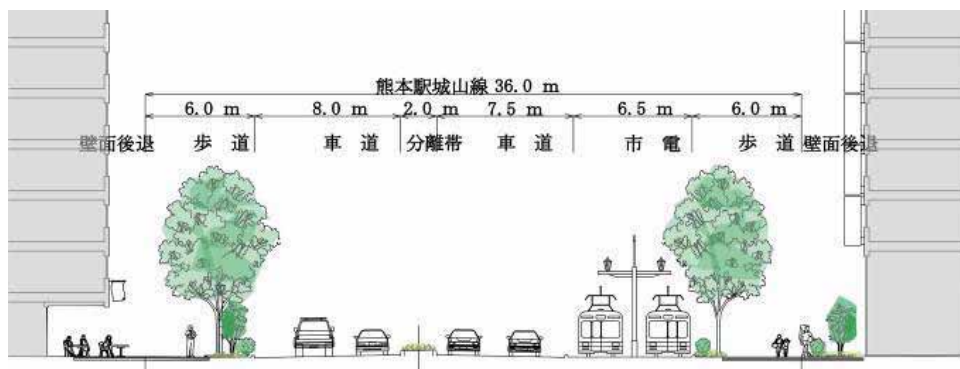
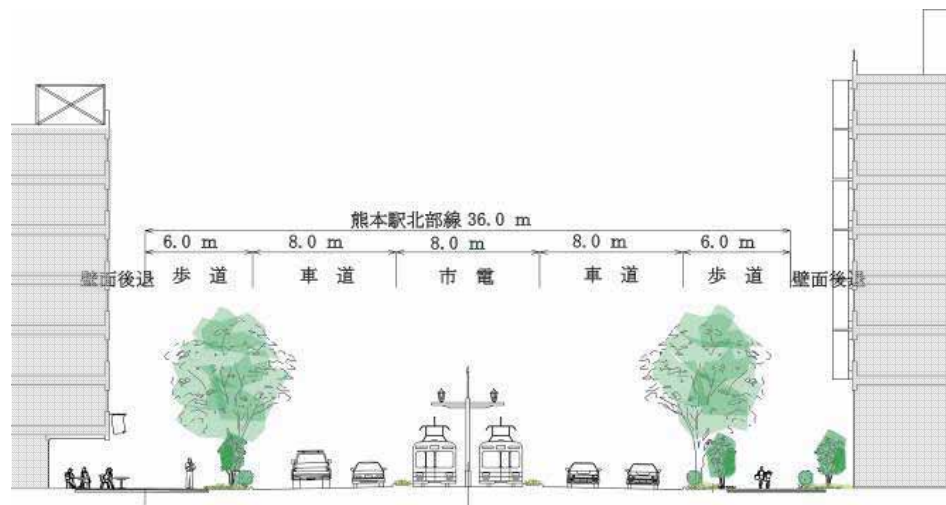
出会の景のにぎわいとうるおいが、緑と共に木立の景に^{にし}しみ出してきたような空間を構成する。

(2) 空間の考え方



(3) 空間のイメージ

断面のあり方



イメージ

